

明るい里山つくり

きんたろう倶楽部 タケや低木伐採



のこぎりでタケを除伐する学生ら

周辺はクマなどの野生動物が多く出没するため、クマが人間を発見しやすく、明るい林をつくりと実施した。

同倶楽部会員や学生、大学職員ら約六十五人が参加した。学生らは会員から指示を受け、のこぎりなどでタケや低木を切り、気持ちのいい汗を流した。切ったタケや木は、チップシュレッダーで細かく粉碎し、地面にまいた。

里山再生を目指すボラ八日、富山市東黒牧(大ニテア支援組織「きんたろう倶楽部」(会長・西頭徳三富山大学長)は、タケや低木などの除伐作業を行った。富山国際大

同倶楽部は九日、同市婦中町大瀬谷の植林地で、里山整備で除伐した木材をまきとして活用するため、チェーンソーの使用法やまきの割り方などの研修会を行う。当日の問い合わせは同倶楽部事務局、携帯電話090(6810)4413。